

ひなぎくの森

第二話
文 * sawori

「ひなぎく、今日は仕事ありますか？」

流暢な日本語で聞いてきたのは、フランス人留学生のフランソワ。日本の文化を学ぶために日本の大学に進学して、ホームステイでわたしのおばあちゃんちにやってきた。

「うん、今日はお昼から行くよ。来る？」

わたしの仕事はレコード店。エバーグリーンハウスっていう小さい店だけど、趣味も雰囲気も良くて、すごく居心地が良い。一人暮らしのおばあちゃんが心配で時々様子を見に来ていたけど、今はフランソワが来てちょっと安心してる。でもここに来るのは習慣になっちゃってて、今も3人で朝食中。

「行きます！今日、講義朝で終わるので、その後 evergreen house に寄ります！欲しいCD あります。」

「なんのCD？」

「はっぴいえんどです。『Lost In Translation』で映画で聴いてからどうしてもCD が欲しくて。」

「あ、確かusedがあるよ！フランソワって映画好きだよねえ。前も『ひなぎく』って映画のこと教えてくれたでしょ？」

「はい、映画オタクです。あの日のひなぎくは、花かんむりをつけていて、本当に映画のマリエのように美しかったです。」

オタクって日本語浸透してるなあ。いや、それよりも、美しいって！

天国のお母さん、フランスの王子様は美しいとか平気で言うてくるよ！しかもオタクだよ！

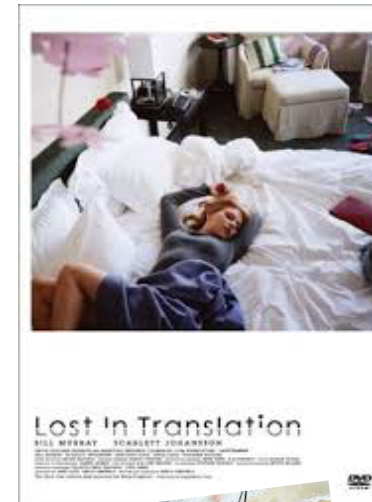
～つづく～

映画オタクのフランス人留学生フランソワ（18）とレコード店員のひなぎく（23）のカルチャー交流記。 随所にキュンセリフを放つ天然王子フランソワの今後のキュンワードにも注目！笑

* sawori*

* ひなぎくの森のカルチャーその2 *

映画「ロスト・イン・トランスレーション」



『ロスト・イン・トランスレーション』

2003年のアメリカ合衆国・日本のロマンティック・コメディ映画。出演はビル・マーレイとスカーレット・ヨハンソンなど。東京を舞台に、倦怠期のハリウッド・スターと、孤独な若いアメリカ人妻の淡い出会いと別れを描く。

公開日：2004年4月17日（日本）

監督：ソフィア・ Coppola

音楽：ケヴィン・シールズ

ヴァージン・スーサイズから日本が舞台の今作へガラリと雰囲気を変えてきたソフィアの引き出しの多さ。ストーリー性はありふれているのに、演出や効果が抜群にセンス良く、打ちのめされる。時が経っても色褪せない、まさにエバーグリーンな作品です。

「はっぴいえんど」

細野晴臣、大瀧詠一、松本隆、鈴木茂らによって結成されたのこのフォークロックバンドグループ。日本産ロック史の草創期に活動したグループの一つ。いつ聴いても何度聴いても色褪せない。こちらエバーグリーン。

